

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 都整-40 調整区域施設整備事業費 ☐ 支 援 部 門									
主管課	下水道河川課				関連課		浄化センター			
分野名	下水道・河川									
目標 (目標値)	生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資する。									
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考		
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯				
	事業の対象者数	2,100人		2,100人		2,100人				
運営資源状況	決算値(千円)	63,918		41,641		31,949				
	(国・県)	24,428		18,862		12,878				
	(負担金等)	29,100				3,813				
	(一般財源)	10,390		22,779		15,258				
	人員配置数	0.7人		0.4人		0.7人				
	人 件 費(千円)	5,511		3,221		6,112				
	協働のパートナー									
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	69,429		44,862		38,061				
	市民1人当りの経費(円)	390		253		215				
	対象者1人当りの経費(円)	33,061		21,363		18,124				
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	川崎市	藤沢市	寒川町					
	事業認可変更	H20年度	H7年度	H11年度	H13年度					
	工事着手	H22年度	H9年度	H12年度	H14年度					
指 標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)			
汚水管渠整備延長	○	目標値	1,300m	2,600m	3,900m	4,200m	6,800m			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	166m	571m	868m	1,335m				

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
調整区域施設整備事業費	63,918	調整区域施設整備事業費	64,600	今後の方向性	B	理由・手法	住民の整備要望等を考慮して、整備箇所を選定して着実に整備を図る。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・年度当初の国の補助金の削減などにより、資金計画に課題があった。 ・年度末の工事が入札不調となり、工事が翌年度に繰越明許費繰越となった。												
課題解決のための取組	・工事の施工規模の見直しを行った。 ・年末に国へ追加要望を行い、認められたため、平成26年度に繰越明許費繰越で施工する。 ・発注時期の前倒しなどの時期の見直しを実施した。							取組の結果	☐ 解 決 ☒ 未解決				
未解決の課題	・国庫補助金が、要望どおりの担保されない。												
中事業の評価	適切＝○改善＝△【2面「評価の視点」を参照】□				➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・関連課や地元自治会などに協力を要請しながら、早期に下水道整備を実施する。 ・国の補助金制度の見直しの動向を見ながら、最善の整備手法等を検討する。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		B			
※□事業完了													

評価者名

下水道河川課担当課長

藤木 修

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
調整区域施設整備事業費	下水道法の事業認可を受けた市街化調整区域内の污水管渠の築造工事を、前年度からの事故繰越しを含めて行う。また、平成25年度工事分の30,260千円を翌年度への繰越しを行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1395	污水管渠建設に伴う県道自費復旧事務費手数料	80	0	○	○	○	○
		1425	公共污水ます設置委託料	300	0	○	○	○	○
		1395	污水管渠建設に伴う家屋損害状況調査業務委託料	800	0	○	○	○	○
		1395	污水管渠建設に伴う地下埋設物調査業務委託料	5,000	0	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の污水管渠築造工事請負費（前年度から繰越明許費） 笛田第2枝線（鎌倉山一丁目15番先）	0	28,296	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の污水管渠築造工事請負費 笛田第2枝線（鎌倉山一丁目16番先）		32,550	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の污水管渠築造工事請負費（翌年度への繰越明許費） 深沢枝線（梶原五丁目12番先）		0	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の污水管渠築造工事請負費（翌年度への繰越明許費） 笛田第2枝線（鎌倉山一丁目16番先）	88,000	0	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の公共污水ます設置工事請負費		0	○	○	○	○
		1395	市街化調整区域の路面復旧工事請負費		3,072	○	○	○	○
※□ 事業完了	1395	地下埋設物移設等補償金及び賠償金	14,080	0	○	○	○	○	

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
調整区域施設整備事業費									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□ 事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
調整区域施設整備事業費									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□ 事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
調整区域施設整備事業費									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□ 事業完了							

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
調整区域施設整備事業費									
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		※□ 事業完了							